

福岡県(国内初)、熊本県で ランピースキン病が発生しました

【発生概要】

- ・11月6日、福岡県の2農場(乳用)で発生。
- ・11月9日、福岡県の発生農場から移動した牛が飼養されていた熊本県の1農場(乳用)で発生。

【ランピースキン病とは】

ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病です。

主に、蚊、ハエ、ダニなどの節足動物や感染した牛の移動により、感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。



注意のポイント

○毎日の健康観察の徹底

早期発見・早期通報が重要。疑わしい牛は隔離し、導入、出荷、移動時には健康観察を徹底。

○害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、粘着シートなども活用。

○清掃・消毒

畜舎周辺の整理整頓を徹底し、飼養管理に使う器具や畜舎などの施設は清掃と消毒を実施。

異状をみつけた場合には直ちに診療獣医師又は
山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005・090-5544-7868